

他自治体ヒアリング調査結果

自治体	東京都	横浜市	尼崎市	町田市
施設名	高尾の森わくわくビレッジ	横浜市上郷・森の家	美方高原自然の家「とちのき村」	大地沢青少年センター
設置年月日	平成17年4月	平成4年7月	平成8年4月	昭和53年
以前の形態	都立八王子高陵高校	無償貸付 (公益財団法人横浜市緑の協会)	市直営	市直営
運営方式	PFI	PFI・指定管理	指定管理者制度	市直営
受託先	京王ユースプラザ株式会社	上郷フォレストPFI株式会社	公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会	未定
民間活力導入時期	平成17年4月	平成30年6月	平成21年4月	
施設の位置付け	青少年施設	研修・宿泊施設	青少年健全育成・市民のレクリエーション場所の提供	青少年健全育成・市民福祉増進
予算	399,846,000	110,542,000 (2016年度補助金)	132,999,000	190,811,000
敷地面積	6.6ha(大地沢の約0.3倍)	6ha(大地沢の約0.27倍)	6.7ha(大地沢の約0.3倍)	22ha
建物延べ床面積	14,960.54㎡(大地沢の約4倍)	6,891㎡(大地沢の約1.8倍)	7,474㎡(大地沢の約2倍)	3,680.37㎡
客室(定員・和室・洋室)	定員 200名 和室 23畳 3部屋 13畳 4部屋 15畳 5部屋 洋室 15畳10部屋 12畳 6部屋 13畳 1部屋	※改修前旧施設情報 定員 136名 和室 20畳8部屋 16畳10部屋 洋室 2部屋	定員 261名 客室 10人用(2段ベット)24部屋 和室 3人用7部屋	定員 130名 和室 20人用6部屋 5人用2部屋
駐車場	132台	※改修前旧施設情報 125台	50台	88台
食事提供	有	有	有	無
お酒	場所を限定して提供 (食堂、風呂場前、客室)	食堂 野外炊事場 客室等	食堂のみ(23時まで)	禁酒
その他	・炊さん場(100名) ・テントサイト20区画 ・キャンプファイヤー場 2サイト ・研修室3部屋・多目的室1部屋 ・体育室4室・陶芸室 ・木工室・音楽室・学習室	※改修前旧施設情報 ・バーベキュー場 ・森のホール(144席) ・ミーティングルーム2室 (定員60名・20名) ・大広間(定員60名) ・大浴場・工房 ・火の間・ミニドーム	・野外炊事場(100名) ・テントサイト30区画 ・コテージ5棟・研修室5室 ・天文台・多目的ホール ・創作工芸室	・野外炊事場(100名) ・テントサイト10区画 ・キャビン6棟 ・キャンプファイヤー・多目的ホール ・工芸室
総利用者数(日帰り+宿泊)	280,194	非公表	34,791	49,567
宿泊者数(2017年度)	33,612	33,691(2016年度)	32,183	11,391
施設稼働率	宿泊施設70%	約76%(2016年度)	宿泊施設36.2%	宿泊施設29.8%
民間活動導入理由	・民間資金、経営能力、技術力の導入 ・財政コストの削減 ・利用者ニーズの応じた質の高い対応 ・行政と民間との協力関係の形成	・施設の老朽化 ・施設の中に、ゴミ焼却施設の余熱利用で始めた温浴設備があったが、ゴミ焼却施設が移転したため、光熱水費の負担が増加 ・食事の魅力アップ ・個人利用を増加させる ・体験プログラムの充実	・施設稼働率向上のため ・経費削減 ・民間のノウハウを導入するため	
運営形態	京王ユースプラザ株式会社をはじめとする8社で運営	株式会社紅梅組をはじめとする7社で運営	上記受託先の1社で運営	
民間活力を導入するメリット	・事業の安定性が確保されている ・民間ノウハウを活かした事業 ・グループ企業の強みを活かした輸送力強化(バス路線の延長)や宣伝広告活動(電車中吊り広告) ・大口キャンセルが入った場合は京王観光等と連携し穴を埋めることができる	・民間事業者が6月に決定したため具体的な事業は現在調整中 ・PFIを導入することで建築費が単年度払いから複数年の分割払いになるため、市の財政負担の軽減がおこなわれた	・地域連携による活動エリアの拡大 ・体験プログラムの増加 ・リピーターの増加 ・自然学校利用者が減小する中積極的なPR活動を行い一般利用者の増加を図る	
民間事業者と地域の連携及び協働	・八王子市教育委員会 ・八王子わくわくフォルクローレフェスタ開催 ・高尾の森自然学校(一般財団法人セブンイレブン記念財団)との共同企画	・グリーンサポーター ・施設内での大島桜管理	・地元農家 ・モンベル ・植村直己冒険館パートナー連携 ・倉本聰主宰富良野自然塾との連携 ・大学とキャンプ実習等单位認定コース	
民間事業者による利用促進のための取り組み	・プロジェクト・アドベンチャープログラムの実施(企業研修等に活用) ・100種類のプログラムサービスの実施(雨の日でも飽きず過ごせる)	・日本野鳥の会、日本自然保護協会と連携し、プログラムの拡充を図る	・要望に応じたプログラムの提供(PDCAサイクル) ・教員免許状更新講習 ・雪を活用した企画 ・冒険あそび	